

# ホームホスピスと 緩和ケア

第1回 全国ホームホスピス西日本支部大会

日時: 2018年11月23日(金) 14:00 ~ 16:45 (13:30開場)

場所: **ラッセホール** 神戸市中央区中山手通4-10-8

JR・阪神電車・神戸市営地下鉄の駅から  
徒歩10分以内。兵庫県庁近く

参加費: **500円**

ホームホスピスは、治癒が望めない病いにあっても、意思疎通が困難な認知症になっても本人の最善を目指し、最期まで穏やかな日常生活や社会生活を送れるように、暮らしの中に迎えて、その「とも暮らし」を支える活動に始まりました。私の痛み、苦しみをとってほしい……。そうした思いを受け止め、その方が自分なりの生活を取り戻すことができるように支えるのが”緩和ケア”であり、ホームホスピスの理念です。

13:30 ~ 開 場

14:00 ~ 14:15

## ホームホスピスの広がり

市原 美穂 (全国ホームホスピス協会理事長)

14:20 ~ 15:10

## 今どきのホスピス・緩和ケア

新城 拓也

(しんじょう医院 院長、日本緩和医療学会認定専門医)

15:20 ~ 16:10

## 死に逝く人は何を想うのか

人生の最期に聴く音楽

佐藤 由美子

(米国認定音楽療法士)

16:15 ~ 16:45

## 《鼎談》ホームホスピスと緩和ケア

新城 拓也 / 佐藤由美子 / 松本 京子



■問合せ及び申込み

NPO 活動法人 神戸なごみの家事務局 TEL 078-578-3112 / FAX 078-578-3114

主催 一般社団法人全国ホームホスピス協会 全国ホームホスピス協会西日本支部

ホームホスピス合同研修会実行委員会

共催 日本財団

日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

## 第1回 全国ホームホスピス協会西日本支部大会へのご案内

宮崎市内の住宅街にある空き家を借りて始まったホームホスピスは、市民運動として全国に広がり、今年で14年になります。一軒家を借りて5、6人の利用者がともに暮らし、そこに外部から介護や医療のサービスが入ってもらって「私たちはその生活を支えよう」という市民の自由な発想から生まれたホームホスピスは、重度の認知症や重篤な病のため病院や施設でなかなか受け入れてもらえない人、医療ニーズの高い慢性期にある人、一人暮らしや老老介護で生活の維持が難しくなった人など困難な事情をかかえて、安心できる居場所が見つけれないで困惑している人に向けて開かれました。

ホームホスピスは行政関係者や研究者などの各方面の関心を集めました。中でも現状の制度の下では十分に活動できないと考える医療・介護の現場に立つ人たちの共感を呼びました。関西地区は、「神戸なごみの家」や尼崎の「愛逢の家」、姫路の「ひなたの家」など早くから開設し、地域で中核的な活躍をしている「家」が多く、開設数も全国一です。これを機に、ホームホスピスの基礎を支える緩和ケアについてともに学び、市民の皆様にホームホスピスの活動について関心をもっていただけたら幸いです。



### 新城 拓也

1971年、広島生まれ。緩和ケア病棟に入院している終末期のがん患者に専門的な緩和ケアを実践する一方、日本緩和医療学会の代議員、緩和医療ガイドライン作成委員会の担当委員を務める。日本緩和医療学会認定専門医。2012年に神戸市内に開院したしんじょう医院の院長として、在宅医療を専門に提供している。

著書：『患者から早く死なせてほしいと言われたらどうしますか？—本当に聞きたかった緩和ケアの講義』2015年。『超・開業力 在宅医療・クリニック経営の新常識と新城式』2017年、両書とも金原出版。『がんと命の道しるべ 余命宣告の向こう側』（単著）日本評論社、2017年他多数。



### 佐藤 由美子

ホスピス緩和ケアの音楽療法を専門とする米国認定音楽療法士。バージニア州立ラッドフォード大学大学院音楽科を卒業後、オハイオ州のホスピスで10年間音楽療法を実践。2013年に帰国、国内の緩和ケア病棟や在宅医療の現場で音楽療法を実践。

著書：『ラスト・ソングー人生の最期に聴く音楽』ポプラ社、2014年。『死に逝く人は何を想うのか—遺される家族にできること』ポプラ新書、2017年。

### 市原 美穂

1947年、宮崎県生まれ。1987年いちほら医院事務長、2002年、ホームホスピス宮崎理事長に就任。2004年、ホームホスピス「かあさんの家」開設。2015年、暮らしの保健室開設。

著書：『病院から家に帰る時に読む本』共著、『ホームホスピス「かあさんの家」のつくり方』2011年、『暮らしの中で逝く』2014年、いずれも木星舎。

受賞歴：2008年、社会貢献者賞（日本社会貢献支援財団）。2009年、新しい医療のかたち賞（医療の質・安全学会）。2008年、社会貢献者賞受賞（社会貢献支援財団）。2015年、保健文化省受賞、他。



### 松本 京子

阪神淡路大震災後に在宅看護の道に進み訪問看護ステーション管理者を勤めた後、有床診療所ホスピスの開設に従事、入院と在宅を統括する管理者を勤める。2008年、緩和ケア認定看護師の認定取得。2008年、(株)なごみ代表取締役就任。訪問看護・居宅介護支援・訪問介護事業開設。翌年、ホームホスピス「神戸なごみの家 雲雀ヶ丘」開設。日本福祉大学大学院社会福祉学研究科 社会福祉学専攻修士課程修了。2014年、ホームホスピス「神戸なごみの家 中津庵」開設。2015年、(一社)全国ホームホスピス協会副理事就任。2015年、「暮らしの保健室 神戸なごみサロン」開設。

著書：『ホームホスピス「神戸なごみの家」の7年—看取りの家からとも暮らしの家に』木星舎、2015年、他。



**FAX 078-578-3114**

**参加申込書（申込み締め切り 11月10日）**

お名前	住所
所属	電話（携帯）

■上記にご記入の上、FAXしてください。なお、当日参加の場合、会場の都合でお断りすることもありますので、事前申し込みをお勧めします。

■お問合せ先 NPO 活動法人 神戸なごみの家事務局 TEL 078-578-3112